



井原市の花 パンジー

井原市民病院だより

No.24

2013年6月発行

日本医療機能評価機構 病院機能評価Ver.6.0認定

地域とともに歩む、
より愛される病院を目指して

第三回病院祭り
11／17
(日)



Mission (使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、
健康増進を支援する

Vision (将来展望)

いつでも安心してかけられる、
身近で愛される急性期病院

今年のスローガン

チーム医療の推進

Ibara City Hospital

井原市立井原市民病院

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
TEL 0866-62-1133(代) FAX0866-62-1275(代)
E-mail byoin@city.ibara.okayama.jp

診療科目

内科・循環器内科・外科・整形外科・眼科・小児科
脳神経外科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科・泌尿器科・皮膚科

発行責任者：山田 信行

「井原市民病院事務部長就任のご挨拶」

事務部長 野崎 正広



この度、ご縁ありまして井原市民病院に勤務させていただくこととなりました野崎です。どうぞよろしくお願いいたします。4月2日、採用辞令をいただきその重責にあらためて身の引き締まる思いをしております。

私の出身は、岡山県東南部に位置する、大正ロマン画家 竹久夢二で有名な瀬戸内市邑久町で、地元は海と山に囲まれ、牡蠣やピオーネ、みかんなどの特産品があります。家業も定置網とかき養殖をしておりました。入江に面した温暖な気候で、南には小豆島、東に日生諸島や兵庫県家島諸島、遠くは四国の屋島も眺望ができ、とても風光明媚なところです。井原市には約3年前に田中美術館を訪れたのが初めてでした。鉄道と史跡・旧跡や美術館・博物館巡りが趣味で、井原鉄道に乗り車窓に広がる風景を楽しむことができました。井原市には沢山の史跡・名勝がありますので時間が許せば回って見たいと思っております。

私は、昭和53年8月に地元にありますハンセン病療養所の国立療養所邑久光明園に就職し、中国地区の国立病院・療養所及び関係機関に約35年間勤務して参りました。ご存じかとは存じますが、国立病院・療

養所は、平成16年4月に独立行政法人国立病院機構に組織移行し、その運営形態は国の時代とは大きく変わり、新たな仕組みが導入され、業績に対する事後評価が徹底される一方で、組織や財政運営の自主性が病院の責任において拡大されてきたところです。

さて、最近の医療をめぐる環境は、めまぐるしく変革してきており、また、地方においては医師、看護師、薬剤師等医療スタッフの確保が大きな課題となっています。少子・高齢化の進むなか、これから病院運営は将来を見据えて行っていく必要があります。また、病院は常に『患者様に安全で安心な医療を提供すること』が求められています。良質な医療は経営の安定の上になり立ち、経営の安定があって良質な医療が提供できるとも言われております。当院はミッションである『地域住民の尊厳を守り、命を守り、健康増進を支援する』を掲げ、山田院長をはじめ職員皆さんが色々と取り組みされてきておられました。私もこれからの厳しい医療状況を乗り越えていくべく努力していく所存です。皆さま方から多くのご意見をいただき、『地域とともに歩む、より愛される病院』をめざし、これまでの経験を活かし、微力ではございますが地域の医療に貢献できればと思っておりますのでご指導とご鞭撻についてよろしくお願いいたします。

就任のごあいさつ

医事課長 平松 誠



本年1月より医事課でお世話になっております。金融界に30年余り、モノづくりの会社に約5年身を置いてきました。医療業界とは「取引先」として、また、「患者」としての関係にありました。その中に入って浅学非才の身をどこまで生かせるか未知数ですが、壁にぶつかりながらも前向きに全力で取り組んでいく所存です。

3か月間仕事のやり方や市民病院の職員としての身の処し方を模索してきました。これからは50年の間に諸先輩方が築き上げられた伝統を守り、そして、変えるべき点は躊躇せずに変えていきたいと思っています。

立場上患者さまの声をお聞きすることがよくあります。苦情、提言のなかに「市民病院はこうあって

欲しい」という思いを強く感じます。地域に信頼される中核病院としての課題に事務部門の一員として取組んで参ります。チーム医療の推進のため、情報発信に努めていきたいと考えています。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

ボランティアによる花壇整備



4月、皆様のボランティアにより、正面玄関の花壇が春の彩りに飾られました。黄、紫、白のパンジーや芝桜など色とりどりに整備していただき、来院される方々の目を楽しませてくれています。ボランティアに参加してくださいました皆様方に紙面をお借りしてお礼、感謝申し上げます。

第1回市民公開講座「みんなで支えあう救急医療」

日時 平成25年2月24日(日) 13:30～15:30 (13:00 開場)

会場 アクティブライフ井原メルヘンホール

内容

①基調講演 演題 「救急医療現場の状況と課題について」

講師 鈴木幸一郎氏

(川崎医科大学附属病院救急科部長

高度救命救急センター長)

②シンポジウム

テーマ「みんなで支えあう救急医療

～上手な医療機関へのかかり方～」

コーディネーター 阿部ゆり子 氏(岡山県備中保健所 所長)

アドバイザー 鈴木幸一郎 氏

(川崎医科大学附属病院救急科部長 高度救命救急センター長)

シンポジスト 小田 健司 氏(井原医師会理事 小田病院 院長)

山田 信行 氏(井原市民病院 院長)

小谷 和秀 氏(井原地区消防組合 救急救命士)

亀山 良子 氏(井原市愛育委員連合会 会長)

大元 一高 氏(井原市健康福祉部 部長)

当院の山田院長もシンポジストとして参加され、壇上、二次救急医療機関としての当院の状況を踏まえ、困難な救急医療運営について参加いただいた市民の皆様理解を求めました。

「地域住民にお願いしたいこと」(抜粋)

○市民みんなの病院です。受診ルールを守り、病院を大切にしましょう。絶対にコンビニ受診は止めましょう。

○住民が一致協力して、地域に医師確保をしないと5～10年後には確実に地方の病院はなくなります。

シンポジウムの最後で、

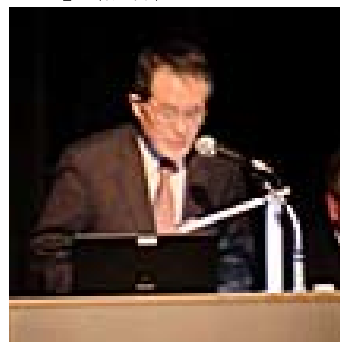
○医療の不確実性について理解すること。

○地域医療を守るのは地域住民であること。

○救急医療の仕組みを理解し、受診ルールを守ること。すなわち地域住民の受診行動の変革が求められている。

○医療を受ける側、提供する側ともに、お互いに感謝の気持ちといたわりの心を忘れないこと。

地域の医療は、地域の医療従事者と住民双方で創り出し、守っていくものであるとまとめられました。



地域医療実習を終えて



今回、地域医療実習ということで井原市民病院に1週間お世話になりました。この実習のおかげで、実際の病院がどのようなことを行っており、どんな人たちがどのように働いているのかを少し理解できたと思います。病院が本当にいろいろな人たちが協力して成り立っていることを思い知りました。チーム医療という言葉を実感できました。

また、病院では診療だけでなく、退院するためのケアなど様々なことを行っていることを知りました。とくにNSTについては初めて知りました。食事は生活の基本で、生活の質を左右すると思うので、入院中であってもより満足できるような食事を考えているのはすばらしいことだし、私が患者さんの立場だったらすごうれいと思います。

最後になりましたが、このたびの実習では山田院長、平井副院長をはじめ、たくさんの方々にお世話になりました。いろいろご迷惑をおかけしましたが、すばらしい経験をすることができました。この実習で得たことを胸に勉学に励んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

岡山大学医学部医学科3回生 小椋 紫芳

このたび私たちは井原市民病院に、3月4日から8日まで、地域医療実習に来させて頂きました。

5日間という限られた期間にできるだけ多くの事を学べるようにとご配慮頂き、初めから沢山の内容で実習プログラムを組んで下さいました。

3年生の私たちにとって病院へ実習に出るのは今回がほぼ初めてで、右も左も分からない中でしたが、スタッフの皆さんは本当にあたたかく、笑顔でご親切に対応して頂き、そのお陰で最後には岡山市に戻るのが名残惜しい程、大変充実した実習になりました。

今回の実習で特に良かったのは、様々な職種のスタッフの皆さんとお話させて頂けた事です。患者さんによりよい医療を提供するためには、チーム医療の中で、患者さんとは勿論、スタッフ間でも円滑なコミュニケーションをとることが本当に大切なのだと感じました。井原での経験を生かして、よい医師になれるよう頑張っ頑張って勉強していきたいと思っています。

山田院長先生はじめ、実習を担当して下さいった平井副院長、医師の先生方、病院スタッフの皆様、そして何より患者の皆さんに、心より感謝申し上げます。

岡山大学医学部医学科3回生

河合 三津保



新人の紹介

名前 担当科 ①抱負 ②趣味



竹井 研一郎

庶務課

①前職は材木店に務めていました。今までの社会人としての経験とこれから吸収する知識で病院の役に立っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

②音楽鑑賞（ポップス：ジャック・ジャクソン）



鳥越 淳之介

情報管理室

① Sler として培ってきた知識、経験を一日でも早く医療業務の中で活かされるように精進していきたいと思います。

②柔術、格闘技観戦



山岡 美波

看護師

①2年間、家庭に入っていましたが4月から看護師の仕事に復帰することができました。子育てをしながらのお母さんナースが多いと聞き、井原市民病院でなら仕事と家庭を両立できると思い就職を希望しました。子育てをしながらの仕事復帰で不安もありますが、一日でも早く新しい環境に慣れ、チームの一員としての役割を担い、安全安楽な看護が提供できるよう努力します。

②ショッピング、音楽鑑賞、映画鑑賞



藤井 ひとみ

看護師

①子育てが一段落し、自分自身がもう一度新しい環境の中で勉強したい気持ちが強くなり就職しました。今までの経験を活かしながら勉強中です。

一人の患者様をたくさんのチームで支え、援助していく現場を目の当たりにし、チーム医療の大切さを実感しています。

仕事に一日でも早く慣れ初心を忘れず日々努力してまいります。

②スポーツ観戦（特にサッカー、駅伝）

大正琴演奏（演歌ではありません、クラシック～邦楽まで幅広いです）

ツーリング（季節限定です）



太田 学

看護師

①看護の3要素 / 知識・技術・態度の三角形が、いびつな形にならずに少しずつ大きくなっていけるよう精進します。

②ライブに行くこと。結構激しいのを好みます。

新人職員を迎える言葉

入職おめでとうございます。

「チームワーク」を大切に、一緒に頑張っていきましょう。

3階病棟 石村 美佳

慣れるまでは大変だと思いますが、明るく活気のある病院です。一緒にがんばりましょう。

3階病棟 井森 晶子

一緒に仕事ができる日が楽しみです。

一日も早く職場に慣れて、お互いに頑張りましょう。

4階病棟 原田 奈々

不安も多いですが、先輩方に恵まれて良かったです。

これから、宜しくお願いします。

4階病棟 原田 稚子

あっという間の1年間でした。与えられたチャンスを生かせるように仕事をする姿勢が大切だと感じています。

5階病棟 西山 直良

「挨拶が一番。笑顔で患者さんに挨拶することで自然と会話につながります。」

よろしくお願いします。

外科外来 福尾 美紗

入職おめでとうございます。

チャレンジする事が多いと思いますが一緒に一歩一歩頑張りましょう。

手術室 原田 雄平

BSC発表会

4階病棟 内山 嘉子

本院が平成23年度から取り組んでいるBSC（バランス・スコア・カード）活動の平成24年度の各部門取り組み結果発表会を4月15日と5月17日の両日に分けて開催しました。

山田院長から、2年目で各部門とも昨年よりレベルアップし充実した発表となった。また、発表会を通じて各部門の課題を職員が共有することは有意義なことであり、次年度への取り組みに繋げていくことが重要

であるとの講評をいただきました。

平成25年度は、『学習の視点』に力点を置き『医療の質の向上を目指して』、目標設定し、取り組むよう指示がありました。

学習と成長の視点

戦略目標	評価方法・成果尺度	24年度 達成状況	目標	23年度
①モチベーションの向上	①院外研修の参加回数	平均1.8回	1人1回以上	
	②病棟勉強会の参加率	10人	10人以上	8人
	③面接回数	3回	3回	

・輪席/バス導入により基礎知識の勉強会5回
・心不全患者の事例検討
・看護の振り返り DVD使用

「放射線科のご紹介」

科長 中村 博之

病院の新築を機に主要機器の更新を行い、はや10年が経ちました。近隣医療機関の諸先生方のご協力もいただきながら、地域中核医療機関としての機器の相互利用を進め、検査件数も増加の傾向にあります。ここ数年CT検査は年間4000件を超え、MRI検査は2000件に迫る検査を実施することができました。

近年の医療機器の進歩はめまぐるしく、当院においても山田院長をはじめとする循環器内科の充実や、本年度から開設される脳神経外科など、放射線科に求められる画像診断はより高度なものとなり、機器更新の是非についても有益性や採算性を考えながら検討していく必要があります。

放射線科では、現状での最大限の画像診断を提供出来るよう、「いつやるの？ いまでしょう！」を合い言葉に日々研鑽に取り組んでいます。

下肢造影 CT 検査

閉塞性動脈硬化症や深部静脈血栓症の診断に、動脈内の造影剤の濃度が最も高くなるタイミングでCT撮影を行うことで血管の走向を明瞭に描出する検査です。



明瞭な結果を得るために、可能な限り薄いスライスで情報収集し、16列CTの撮影スピードに合わせ造影剤の注入速度を可変させ、造影ピークを延長させることで安定した画像を提供出来るようになりました。

CT コロノグラフィ

2012年の診療報酬改訂により、炭酸ガス利用においてCT大腸撮影加算が取得出来るようになり注目を集める仮想大腸内視鏡検査（CT Colonography）ですが、当院においては既存のバ



リウム注腸器を用いて、room air(空気)によるCTCにも取り組んでいます。加算の算定は出来ませんが、大腸憩室が多い患者様や内視鏡検査が施行出来ない患者様などに取り組みながら、有用性について検証をはじめました。

今後の課題

近年チーム医療の観点において、診療放射線技師には、専門性を活かした読影の補助業務などが求められています。これを当院としてはどのようなかたちで提供することが出来るか？ 新たなアクションを機動させることが今年度の目標でもあります。

現在、男性4名・女性1名の5名の技師により、「断らない病院」の下支えをするべく昼夜を問わず安定した待機体制を提供しています。現在のメンバーでの業務も9年目を迎えました。お互いの良いところも悪いところも支え合いながら「あ・うん」の呼吸の良いチームとなりました。「機器同様、人員も更新だ！」などと言われぬよう、切磋琢磨しながら、更なる10年を目指して行きたいと思っています。



放射線科 機器一覧

・	CT	東芝 Aquilion 16
・	MRI	東芝 Excelart (1.5T)
・	一般撮影	東芝 島津 (2室)
・	X線TV	東芝 Winscope
島津	SONIAL VISION	
・	マンモグラフィ	東芝 Mommorex
・	骨塩定量	HOLOGIC DELPHI QDR
・	外科用イメージ	SIEMENS SIREMOBAIL
・	移動用撮影装置	日立 島津 (2台)
・	画像サーバー	PSP

リレー紹介

産婦人科 平野友美加

2012年6月より毎週金曜日に井原市民病院産婦人科で外来診察をしています。

同年4月に出産し、子育てをしながら岡山市から通勤しておりましたが、10月からは、息子と一緒に通勤するようになりました。片道1時間のドライブ、いつも息子は寝息をたてて気持ちよさそうに寝ています。私が診療している間は、息子は病院敷地内の保育園に預かってもらっています。同じ敷地内にいるだけでとても安心して診療することができますし、息子の調子がちょっと悪いときは、診療の合間に院内の小児科の先生に診てもらえるので本当に助かっております。多くの方に支えられて医療を続けることができます。これから少しずつ大きくなる息子と一緒にいられる時間を大切にしながら診療を続けてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。



まいづる保育園玄関

歯科衛生士 渡邊 泰子

私は歯科の併設のない病院歯科衛生士として患者様のサポートをさせて頂いています。多職種連携のもと、口腔ケア、検診、全身麻酔下手術前の検診、胃瘻造設時口腔ケア、化学療法中の口腔管理、そして歯科往診への連携などを行っています。それぞれ患者様の必要とされるケアを心掛けています。その中で、周術期患者様の手術前後の口腔ケアは術後創部感染の減少、肺炎罹患率の減少に効果を得ています。

高齢の患者様や重篤な病を患われている方は、口腔内の衛生状態までも悪化していきます。全身への感染症の原因でもある為、口腔ケアがとても重要になっていきます。看護師は口腔ケアという専門性を必要とする判断が難しく、口腔ケアにじっくり時間を要することが困難というのも実状です。そんな中、多職種との連携を密にとり、院内全体の意識・技術向上の為に歯科衛生士が力を注ぐ必要があると思います。また、退院後の在宅・施設での高い口腔ケアが継続されるよう、ご家族・施設職員への情報提供の発信も重要だと思います。

歯科衛生士に依頼される専門的口腔ケアは難易度が高く、より高い技術が必要とされる為、病態やそのゴールを意識したケアを行っていきたいと考えています。そしてより良い医療を提供できるよう自己研鑽を続けたいと思います。

「いただきます」と「ごちそうさま」

あべ こうぞう

みなさんは食事の前に「いただきます」、後に「ごちそうさま」を言っていますよね。まさか黙って食べて、黙って席を立ってはいないでしょう。

ではその「いただきます」と「ごちそうさま」は誰に言っているのでしょうか。

先ずは家で料理を作ってくれるお母さんでしょう。また外食をした時の料理人であったりするのでしょうか。でも本当に「いただきます」と「ごちそうさま」はそうなのでしょうか。

食糧を生産して下さる農家や漁師の皆さんへのお礼と感謝と労いの気持ちはどうしてますか。

私は「いただきます」は料理となった植物や動物に対しても言って欲しいと思っています。それは「**あなたの命（生命）をいただきます（食します）**」が相応しいと。

「いただきます」が「あなたの命を食します」となると「ごちそうさま」は「あなたの命をいただきました」（食しました）となるでしょう。

私はもう一言付け加えたいものがあります。それは「**あなたの命を受け繋がります**」と言うことを。

「あなたの命を食しますが、あなたの命を私の中で受け継ぎます。そして私の子孫へもあなたの命を引き繋がります」と。そして子供や孫に言って欲しいことがあります。それは食べ物を残したり、捨てたりしないと言う事です。それは食べ物となってくれた命を粗末にしているからです。

飽食・美食・グルメ・五星の時代、どれだけの命を無駄にして捨ててしまっているのでしょうか、計り知れないものがあります。

どうぞ、これからは「いただきます」「ごちそうさま」は料理を作ってくれた人だけでなく、料理となってくれた命に言うていただきたい、心から。「あなたの命をいただきます」そして「あなたの命を繋がります」と。

リハビリテーション科から

平成 24 年度新患者数比較

* 新患数 1,034 人（入院：669 人 外来：365 人）（図 1）

* 診療科別新患数（整形外科 525 人、内科 362 人、外科 122 人、リハ科 25 人）（図 2）

* 診療区分別新患数（運動器 851 人、脳血管 74 人、呼吸器 58 人、心疾患 1 人、その他、訪問・摂食 50 人）（図 3）

* 退院患者自宅復帰率（図 4）

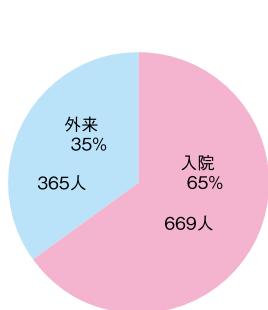


図 1. 平成 24 年度新患数

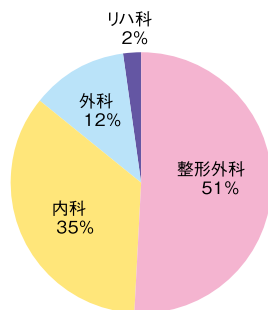


図 2. 平成 24 年度診療科別新患数

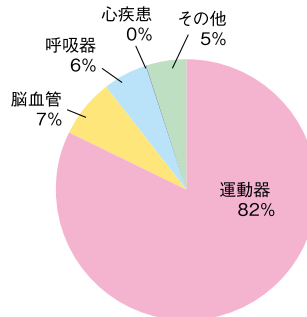


図 3. 区分別新患者数

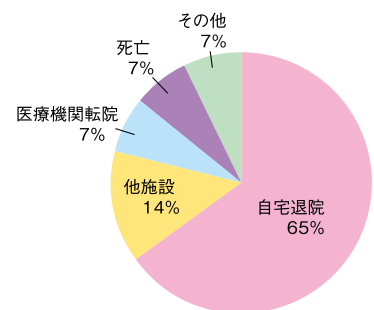
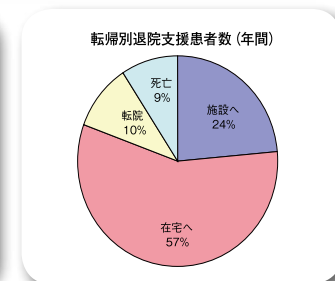
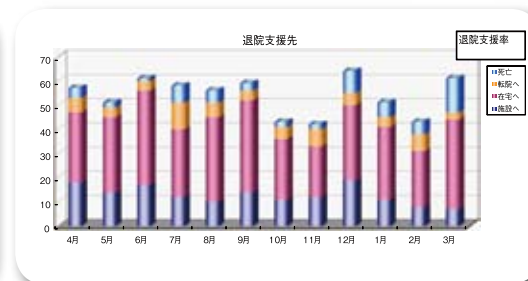
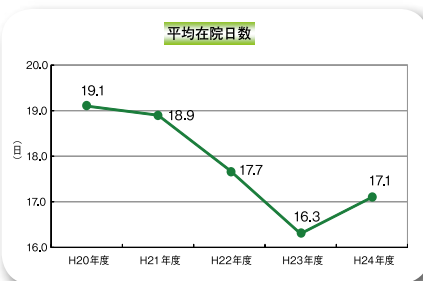
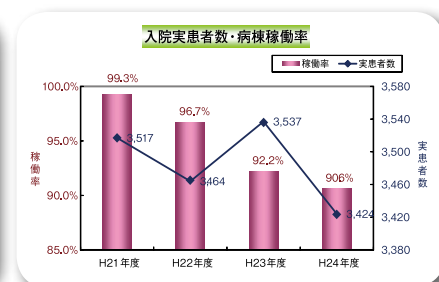
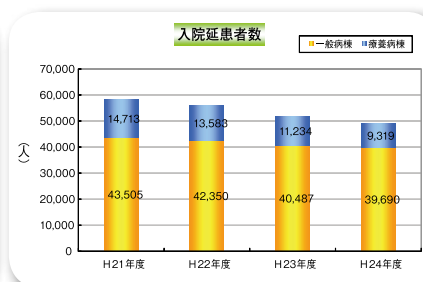
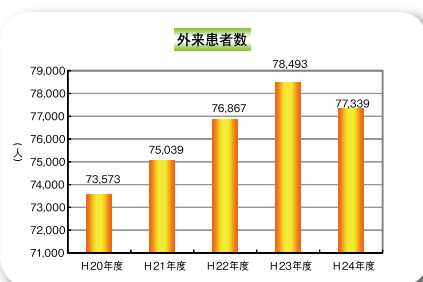


図 4. 退院患者自宅復帰率

平成 24 年度業務状況及び平成 25 年度予算概要



平成 25 年度井原市民病院事業当初予算概要

新年度事業の特色、新規事業等

- 開院 50 周年（昭和 38 年 5 月開院）を迎えるにあたり、記念事業（記念誌発行等）を計画しています。
- 改革プランが平成 25 年度で最終年度となるため、26 年度以降の新たな中長期計画策定を行います。
- 地方公営企業会計制度改革（平成 26 年 4 月～）に対応するため、財政会計システム改修費を経上しています。

収益的収支

（収 益）27 億 5,940 万円（26 億 5,940 万円）
 （費 用）27 億 5,940 万円（26 億 5,940 万円）
 （差 引）0 円 ※（ ）書きは前年度予算
 ※平成 25 年度も、前年度に引き続き、2 年連続、収支同額予算となっています。

【概 要】

- 医療収益については、入院患者数は減を見込んではいませんが、診療単価の改善、検診等の増により 1,540 万円の増収を見込んでいます。
- 補助金について、新たに「感染症病床（2 床）確保に関する経費」、平成 23 年度からの「医師確保対策経費」等により 3,500 万円の増収を見込んでいます。
- 給与費は、看護師、医療技術職員の充足、応援医師の確保に努め

ることとしているため、また、法定福利費の負担増のため、約 6,000 万円増加しています。

- 経費節減を実施してきており、材料費で 2,000 万円の減を計画しています。
- 経費は、委託費で 900 万円減の一方で、電気料の単価アップ、応援医師確保にかかる報償費、賃借料の増により約 800 万円の増となっています。

資本的収支

（資本的収入）2 億 8,209.2 万円（1 億 8,624.9 万円）
 （資本的支出）3 億 5,701.0 万円（2 億 7,567.0 万円）
 （差 引）△ 7,491.8 万円（△ 8,942.1 万円）
 ※（ ）書きは前年度予算

【概 要】

- 医療機器については、更新にかかる所要額を計上するとともに、収益、患者サービスの向上、医療の専門性、質の向上に繋がる新規機器を導入することとしています。
- 電子カルテ・オーダーリングシステム他の更新費用等約 1 億円を計上しています。
- 企業債償還金については、対前年度約 3,000 万円の減額となっています。



♪あかりをつけましょほんぼりに お花をあげましょ桃の花♪
3月3日は、ひな人形を飾って女の子のすこやかな成長と幸せを願う日と
言われています。

＜献立＞
散らし寿し
小松菜の和え物
すまし汁
ひなあられ



平成 25 年度健康教室について

平成25年度の健康教室は右記のとおり
行います。

開催日時 毎月第3水曜日
11時30分～12時
※ 開催日時が第3水曜日に変更になりました
開催場所 玄関ロビー

平成25年4月～11月までは
『心臓病（心房細動）について』のテーマ
で行います。

	開催日	担 当	タイトル
第60回	4月17日	山田院長	脳梗塞の原因になる不整脈：心房細動
第61回	5月15日	看護師	不整脈（心房細動からおこる脳梗塞） ～私たちにできること～
第62回	6月19日	管理栄養士	心臓病の予防・治療のための おいしい減塩食
第63回	7月17日	リハビリテーション科	
第64回	8月21日	薬剤科	
第65回	9月18日	検査科	
第66回	10月16日	放射線科	
第67回	11月20日	視能訓練士	
第68回	1月15日	言語聴覚士または歯科衛生士	
第69回	2月19日	未定	
第70回	3月19日	看護師	

「平成25年度岡山県肝がん撲滅運動市民公開講座 in 井原」 — 肝臓病との上手なつきあい方 —

日本肝臓学会では全国規模で肝がん撲滅運動を行っており、岡山県でも毎年様々な都市で市民公開講座を開催しています。

今年は井原市と井原市民病院が中心となり井原医師会にも御協力いただき、井原市で市民公開講座を開催することになりました。肝臓病の食事療法や肝炎や肝がん治療についてわかりやすくご紹介します。市民の皆さまの御参加をお待ちしております。

○日 時：平成25年9月1日（日） 13：00～15：00
○会 場：井原市アクティブライフ井原 大ホール 電話 0866-63-3347
○主 催：日本肝臓学会
○料 金：無 料 ※事前予約は不要です
（共催）井原市・井原市民病院・井原医師会・岡山県・岡山県医師会・岡山県病院協会
岡山県看護協会・高梁医師会・浅口医師会・笠岡医師会・岡山大学病院

講演1

『肝機能異常と言われたら』
井原市立井原市民病院 副院長 高山二郎 先生

講演2

『もう一度見直しましょう！肝臓にやさしい食事、食品の選び方』
岡山大学病院臨床栄養部 副部長 坂本八千代 先生

講演3

『肝炎のはなし』
岡山大学分子肝臓病学 助教 池田房雄 先生

講演4

『肝がんのはなし』
福山市民病院 副院長 坂口孝作先生

平成25年度「肝がん撲滅運動」岡山県事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
消化器・肝臓内科学 医局内 事務局担当：池田房雄
TEL：086-235-7219 FAX：086-225-5991